

大阪経済の情勢（2025 年 8月指標を中心に）

「大阪経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;7月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・EU向けで増加。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(7月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(7月)は低下。全国の生産(8月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(7月)は低下。

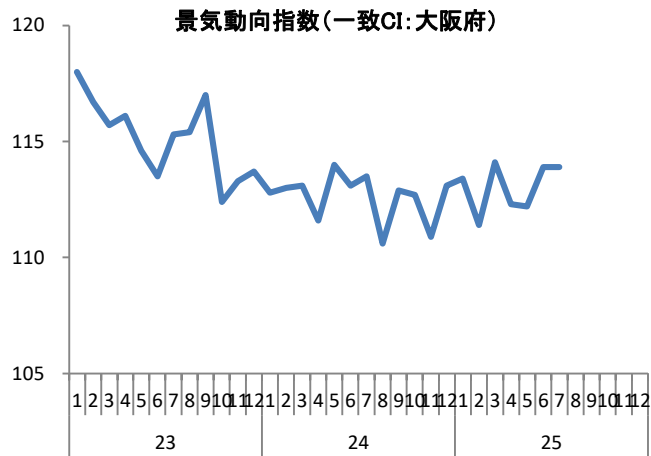
先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

需要									
	総合	消費				投資		貿易・観光	
	一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(大阪)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
8月		↗	↗	↗	↘	↘	↘	↗	↗
7月	→	↙	↗	↙	↘	↘	↘	↗	↗

供給						*前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。
	生産		倒産	雇用		
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
8月		↘	↗	↘	↘	
7月	↘	↘	↗	↗	↗	

●景気動向指数(CI)

大阪府(7月)では、一致CIは横ばい、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「所定外労働時間指数(製造業)」 「百貨店売場面積当たり販売額」が上昇に寄与。



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」 ※2020 年=100

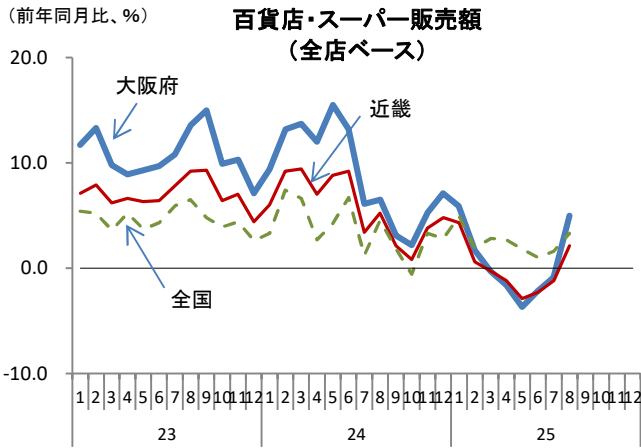
一致CIの個別系列の寄与度※（大阪府、7月速報）

百貨店売場 面積当たり 販売額	大阪税関 管内輸入通 関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人 倍率	所定外労働 時間指数 (製造業)
0.29	▲0.26	▲0.47	0.10	▲0.54	0.25	0.62

※CIの変化が、個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

●個人消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額は増加。新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;7月)は増加。



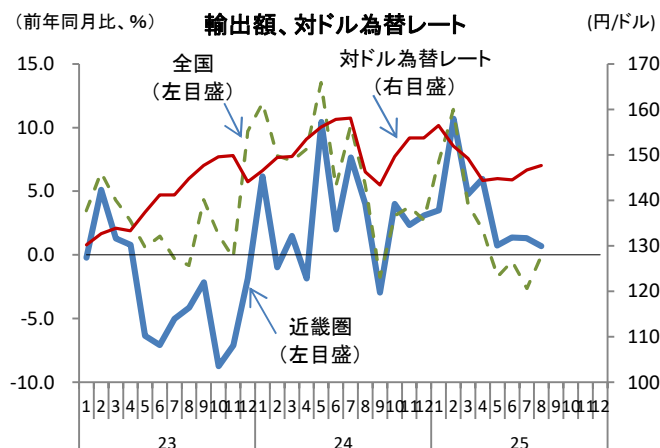
(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」

業態別の増減（大阪府、全店、前年同月比(%)、8月速報）

大型小売店 合計		5.0
うち	百貨店	8.9
	スーパー	1.0

●貿易

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・EU 向けで増加。輸入額は減少。



(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」 ※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

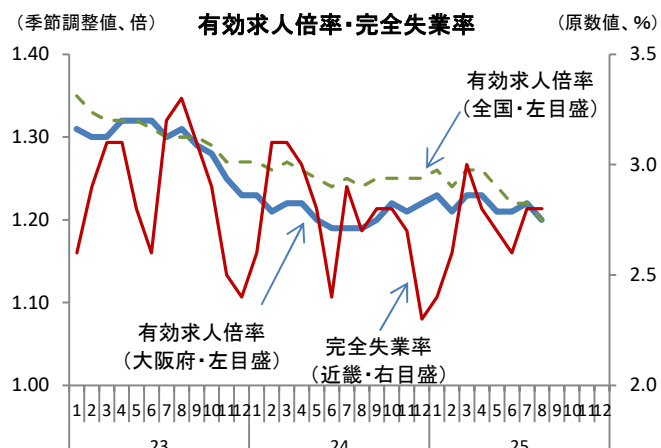
主要地域(国)別の増減(近畿、前年同月比(%))、8月)

アジア(含む中国)	0.8	18ヶ月連続の増加
中国	▲0.2	2ヶ月ぶりの減少
ASEAN	▲7.1	2ヶ月連続の減少
EU	11.3	3ヶ月連続の増加
アメリカ	▲8.4	8ヶ月ぶりの減少

(資料) 大阪税関「近畿圏貿易概況・速報」

●雇用

雇用は、持ち直しの動きがみられる。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(7月)は低下。



(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※近畿の完全失業率は原数値。

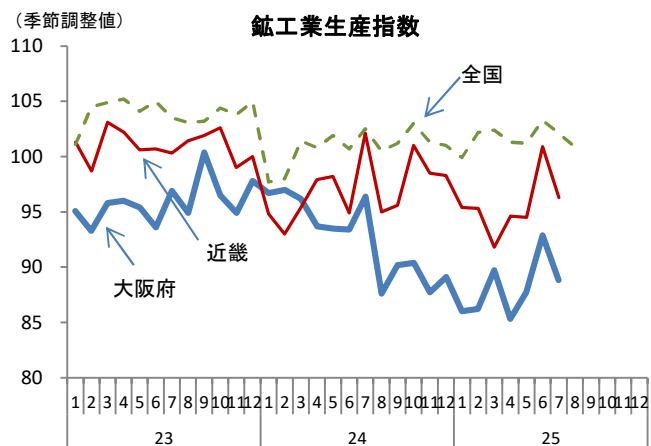
新規求人数の主要産業別増減(大阪府、前年同月比(%))、8月)

産業計	▲9.0
建設業	▲9.9
製造業	▲9.2
卸売業、小売業	▲20.3
宿泊業、飲食サービス業	▲18.3
医療、福祉	▲2.8

(資料) 大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

●生産

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(7月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(7月)は低下。全国の生産(8月)は低下。



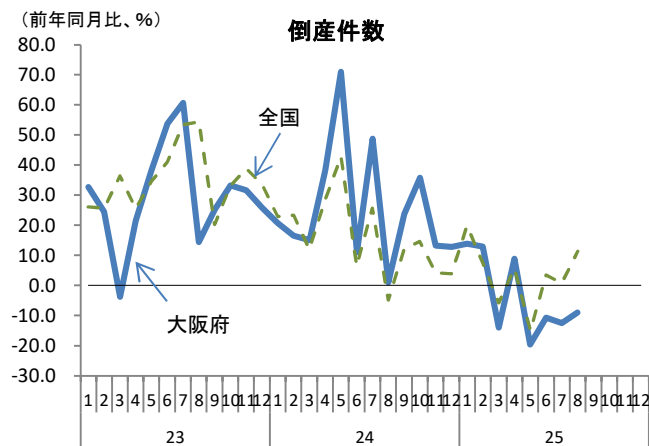
(資料) 大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」 ※2020年=100。

産業別の主な変動(大阪府、前月比(%))、寄与度順、7月速報)

上	化学工業 (19.7) : 医薬品、化粧品
昇	汎用・業務用機械工業 (4.4) : 試験機、一般用バルブ・コック
低	金属製品工業 (▲37.7) : 橋りょう、金属製管継手
下	輸送機械工業 (▲23.7) : 鉄道車両、シャシー・車体部品

●倒産

企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。



(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」

主な倒産(大阪府、7月)

業種	負債額(百万円)
絨毯・カーペット販売ほか	1,600
子供服・雑貨販売	1,627
婦人服地企画販売ほか	730
化粧品等輸入販売	540
クリーニング業	500